


湧水

 議会だより

3月定例会

第13号 平成20年5月1日
発行

題字は幸田小6年生
丸山菜奈さん



吉松小学校入学式 (4/7)

主な内容

平成20年度施政方針	2
条例・陳情書	7
委員会質疑・19年度補正予算	8
町政を問う	9
特別委員会経過報告	19



みちのく福寿草

平成20年度 施政方針

平成20年度施政方針が示されました。

前段においては、災害のない町づくりの指針が形作られつつあることへの評価と、合併後の度重なる災害対応のため、新町まちづくりが計画どおり進まなかったことへの反省が述べられております。

財政面においては、国の税源移譲があたかも地方財政に潤いを与えるもののように思われるが、実質的には移譲された税金分は全額交付税の減額につながるものであり、何のメリットもないものであることを訴えております。

また、福祉、教育、農政に關しては、めまぐるしく制度を変える国の政治的対処療法的手法に不満を述べるものとなっております。

以下、8項目に分類され、

それぞれ方針が述べられていますが、これらについては、4月16日発行の広報ゆうすいにおいて全文が掲載されておりますので、「」参照ください。



主な 質疑等

Q 税源移譲について述べているが、これは交付税の基準財政収入額に全額参入され、交付税が満額カットされることになるのか。

A お質しのとおりであります。仮に税源移譲により1億円の税金が増収となっても地方交付税が1億円減額される仕組みとなっており、地方には何のメリットもないものと言えます。

Q 伊佐北始良環境管理組合について、新しい角度からの管理のあり方とあるが、指定管理者制度をさしているのか。

A 清掃センターについては、今の一部事務組合から指定管理者制度に移行した方が、大幅な負担金削減につながると思っております。

Q 湧き水を利用した、飲料水を商品化する事業とあるが、これは商工会がこの水を使って行つのか。

A 当初、町企画課で手がけたものでありますが、プロセスの中で商工会が地域資源活用の観点から取り組むこととなりました。

当然、町内の湧水を活用することとなりますが、どの湧水を活用するか決定には至っていないようです。

吉松小学校校舎建設工事が着手されます



吉松小学校完成予想図

20～21年度の2か年にわたる事業となります。

平成
20年

第1回定例会

3月定例会は3月6日に召集され、28日までの23日間の会期で開催されました。

その他、財産の無償譲渡・無償貸付4件を可決し、陳情2件を継続審査としました。

今年最初の定例会は、町長の施政方針から始まり、橋梁改築整備基金、後期高齢者医療に関する条例の制定等5件、法律の改正に伴う条例の一部改正等13件、予算は平成20年度一般会計予算約7億3000万円を含む全6会計の当初

また、議会改革調査特別委員会で、一般質問の取り扱いについての協議がなされ、今定例会から質問・答弁時間を含め60分で行うこととしました。

予算は各常任委員会に付託され、審議を行い、また19年度補正予算6件がそれぞれ上程され、原案のとおり可決しました。

一般質問では議員10名が21項目について質しました。

ガードレール等の整備

● 260万円



交付金を元に、年次的にガードレールやミラー等の整備を行うものです。

松山踏切に遮断機

● 400万円

JR松山踏切に遮断機を設置するため、工事費の3分の1を負担するものです。



公用車4台買換え

● 617万4,000円



今年度は普通車3台と軽1台を廃車し、普通車2台と軽2台を購入いたします。

防災無線の整備

● 1,503万6,000円

栗野地域(8箇所)の屋外スピーカーをアナログ式からデジタル式に更新するものです。



林業振興費委託料

● 213万円

竹林の保全や良好な景観の確保を図ることを目的とし平成19年度より3ケ年間、国県道、観光道路周辺を整備するものです。



竹林整備された岩倉地区（川添トンネル付近）

中山間地域総合整備事業

● 866万6,000円



今年度整備予定の瀬久谷地区

平成20年～平成25年までの6年間で農業用水・排水・農道・圃場整備・暗渠排水・農地保全・農業集落道・集落排水・集落防災情報基盤整備等85ヶ所の事業を県営で年次的に実施されるもので、本年度事業費の町負担分です。

子育て支援事業

● 887万6,000円

子育て家庭の育児不安に対する相談指導、子育てサークル等への支援を実施することにより、地域での子育て家庭に対する育児支援を行うものであります。



防衛施設整備事業

● 1億3,214万3,000円



今年度整備予定の四ツ枝永山線

町道四ツ枝永山線他3路線の整備工事を実施するものです。

吉松小学校の建設費

● 4億1,864万2,000円



老朽化した吉松小学校校舎

20年度、21年度の2ケ年計画で総額10億1,500万円を見込んでいます。本年度は主なものとして仮校舎の借上料2,600万円、本体工事費3億8,391万円が計上され可決されました。22年3月までにはすべて完了する予定です。

乳幼児医療費助成金

● 843万9,000円

6歳未満の乳幼児の医療費の自己負担分で1ヶ月3,000円を超えた分を助成するものであり、4月1日より3歳未満児及び町民税非課税世帯は全額助成するものであります。



これまでの老人医療制度に変わり、75歳以上の高齢者及び65歳以上で一定の障害のある方を対象とする制度が発足しました。

これに伴い後期高齢者医療事業特別会計が条例により制定され4月1日から施行されています。

これまでの老人保健法は高齢者の医療の確保に関する法律に変わり、老人医療事業特別会計は前年度分の精算後、廃止されることになります。

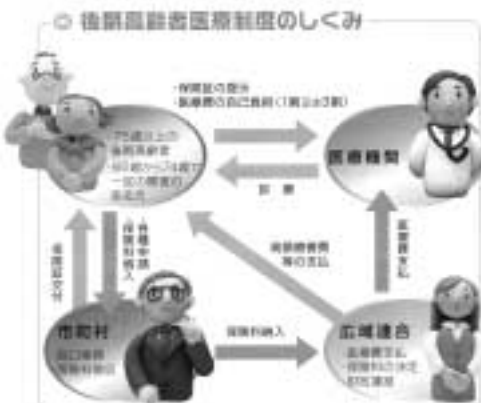
市町村においては保険料徴収を担当し、広域連合に納付する業務が主なものとなります。

また、広域連合に対し職員1名を派遣することになっております。

なお、本年度の当特別会計当初予算額は、歳入歳出それぞれ1億4,791万3,000円となっております。

また、一般会計から連合会へ運営費及び事務費の負担金として1億9,882万2,000円、後期高齢者医療事業特別会計へ5,461万1,000円を繰り出すこととなっております。

後期高齢者医療制度 (長寿医療制度)がスタート



こんなことが

決まりました

条例

橋梁改築整備基金の設置及び管理に関する条例

平成20年度に国が策定する「川内川水系河川整備計画」に基づき改築又は整備される町内の橋梁架替事業の適正な実施のため、毎年度の一般会計決算の剰余金額の10分の1以上の額及び予算で定める額を積立てるものがあります。

公選農業委員定数を16名に

旧吉松町選挙区の基準農業者数及び農地面積が、農業委員会等に関する法律で規定されている選挙区を設ける場合の基準を満たさなくなったため、湧水町農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例を制定すると共に、現在の湧水町農業委員会

の選挙による委員の定数及び選挙区に関する条例を廃止するものであります。

後期高齢者医療に関する条例

後期高齢者医療制度が施行されることにより、本町が徴収する保険料、普通徴収に係る保険料の納期、督促手数料及び延滞金並びに罰則等について制定するものであります。

後期高齢者医療特別会計条例

後期高齢者医療事業の円滑な運営及びその経理の適正を図るため、地方自治法第209条第2項の規定に基づき、特別会計を設置するものであります。



私の陳情書

(要約) 田尾原地区林道整備に対する陳情書

陳情者

轟地区区長 東賢二氏 外

田尾原地区の中尾一帯の森林には牛馬道しか無く、森林整備推進向上と低コストの素材生産を行うためには、森林施業道は必要な施設である。

平成12年に用地関係者の用地無償提供承諾書を添えて行政へ陳情したが、未だ実現されていないため早期解決を願いたい。

継続審査

用地提供承諾書について更に詳細な調査を行う必要がある。

(要約) 幸田頭字佐牟田地区農道整備に対する陳情書

陳情者

幸田頭自治会長 富久和典氏 外

幸田頭字佐牟田地区は生活道路の幅員が狭く、小型車や農機車の通行しかできず、また側溝がないため梅雨や台風時期は雨水が道路を流れる。

また、火事や災害等が発生すると緊急車両は現場に近づけない環境にある。過去幾度となく行政へ要望を行っているが、計画の段階で頓挫し現在に至っているため早期解決を願いたい。

継続審査

更に詳細な調査を行う必要がある。

委員の質疑あれこれ

総務

現化事業による水の販路の開拓の考え方について

文教厚生

健康づくりを進めるための取り組みについて

【質疑】
県際広域バス対策協議会負担金の内容について

【答弁】
商工会が事業主体で委員会が設立されています。

【質疑】
平成20年から始まる特定健診、特定保健指導では健診結果を基に6ヶ月間の保健指導を行います。

【答弁】
南国バスが水俣から空港までシャトルバスを走らせており、これに関係2市2町と南国バスが負担するものであります。

【質疑】
イベントなどのあらゆる実行委員会組織のメンバーが同じで負担も大きいことから、ボランティアや地域住民による運営を考えていないか？

【答弁】
国民健康保険税等の滞納徴収及び滞納させないための努力方法について、今年度は新しい方策を立てているのか

【質疑】
栗野工業高校の跡地利用について

【答弁】
県商工観光労働部長が来町され、工業団地として活用したいとの説明がありました。

【質疑】
粘り強く徴収努力をしながら徴収対策を重ねていきます。目新しい方策は特別ありません。

【質疑】
地域貢献アピールプラン実

【質疑】
その他活発な意見が交わされました。

経済建設

【質疑】
地域貢献アピールプラン実

【質疑】
その他活発な意見が交わされました。

19年度 補正予算

一般会計

(第7号)

補正額 1億8361万5000円

計 66億4123万6000円

国民健康保険事業特別会計

(第4号)

補正額 3846万9000円

計 17億5343万円

老人保健事業特別会計

(第2号)

補正額 1183万8000円

計 24億5745万5000円

介護保険事業特別会計

(第3号)

補正額 146万7000円

計 10億4582万円

農林業従事者労働災害共済事業特別会計

(第1号)

補正額 28万1000円

計 199万1000円

町政を問う

一般質問・答弁の内容は
質問者自らが要約したも
のです

ここが
聞きたい!

議員10名



上水流 功 議員

下場土地区画整理事業の早期完成に努力せよ

補助対応期間内の完成に向けより一層の努力をします

上水流 下場区画整理事業は計画変更延長されているが、関係住民の生活環境の現状や心情を考慮すれば当初計画どおり、あるいは早期完成の促進を図るべきであるが、町長の考えを伺う。

町長 当初においては、計画どおりの事業推進でありましたが、国庫補助金等が国の施策により要望どおりの補助採択がなされなかったことと、本町の財政状況等により事業延長を余儀なくされたものであります。関係住民の状況を考えれば補助対応期間内の完成に向け、より一層の努力をしていきたいと思えます。

上水流 木造住宅耐震基準が強化された1981年5月より前に建てられた2階建て以下の木造住宅の所有者は、地震の危険性に対する認識を高め、耐震性の向上を図る必要がある。

町行政も自らの実行性のある対策に乗り出すべきであるが、町長は、具体的且つ効果的な施策をどう講じていく考えか伺う。

町長 平成20年度より「耐震診断・改修に関する相談窓口」を設置し、住民に周知を図るとともに意識の向上に努めます。経費的なものについては、国・県の補助制度を活用してまいります。

上水流 有害鳥獣被害防止のための施策推進について町長の考えを伺う。

町長 自助努力と駆除隊の充実・防護柵設置事業導入で対応を考えております。

平成20年度より施行の「鳥獣害防止措置法」による事業導入も検討してまいります。

その他の質問
教育委員会の自立について他



区画整理完成地区

児童・生徒の学力向上対策は

職員研修会等を充実させます



池上 滝一 議員

池上 43年ぶりに実施された全国学力テストにおける本町児童生徒の学力状況について伺う。

教育長 小学6年生については、算数の活用する力が不足しています。中学3年生においても国語の基礎及び数学の活用力が全国平均を下回っている状況であります。

池上 その学力結果を基にし、今後どのような教育施策を展開していくつもりか伺う。

教育長 今回の結果を参考に教育委員会では、管理職が協議する場を設けるなど、学力推進会議、小中学校連携研修会、各種教育部会等を活用した指導方法改善の研修会の充実に努めてまいります。

池上 地球温暖化が危惧されている現在、学校教育の中でも環境問題に取り組む必要があると思うが、見解を伺う。

教育長 これまでも総合的な学習や道徳の時間の中で、ごみの調査や減量化に挑戦したり、全校で花や野菜づくりに取り組んだりしています。今後環境に対する知識・理解の定着を図りながら関心意欲の向上につながる指導を行ってまいります。

池上 輸入食材による食中毒問題が頻繁に報道されている状況下で、学校給食の安全性はどうか。また、その影響により各食材の値上がりが見えつつある中で、安全の確保や栄養面の充実に

前提とした学校給食費の現状維持は可能であるのか伺う。

教育長 食材は原則として国内産を使用し、加工品については産地証明書などで厳選して調理しています。また、学校給食には欠かせない小麦粉をはじめとする穀物等

の値上がり心配はありますが、現時点ではどの程度の値上げ幅になるのか予想がたいので、学校給食の効率的な運用と節約を図りながら現状のままでの給食運営を行います。



安全に配慮している学校給食



川田 耕哉 議員

町道の安心・安全な通行確保を

厳しい財政下では、早急な整備は難しい



離合が困難な基幹町道（麓地区）

川田 町道は、安心・安全に通行できることが、第一義である。次の2箇所の整備について町長の見解を伺う。

その一 鶴丸団地入口から安楽温泉間の町道は、幅員が狭く、歩行者、車及び電動車イスとの離合が困難な所が多々ある。

また、国道の浸水時のバイパス道となる。

町長 当路線は、部分的に離合が困難な箇所や、国道浸水時のバイパス道として利用されていることから整備の必要性はあると考えます。厳しい財政状況では補助事業の活用が不可欠で、早急な整備は難しいと思います。

基幹道路として総合的に検討していきます。



屈曲・幅員の狭い生活道（般若寺地区）

川田 **その二** 般若寺前地区の住民は、般若寺温泉を利用する人が多く、日枝神社から温泉間は、不可欠の生活道であるが通行量の割には幅員が狭く、安全な通行に問題がある。

拡幅整備と地形的に拡幅が難しい区間のバイパス道の整備を望む。

町長 住宅の近接等により、拡幅が困難な区間もありますが、整備が必要と考えます。バイパス道も一案ですが、今後、十分な検討が必要であります。

なお、歩行者等の通行の安全を図るため、通行規制や徐行等の表示での対応等を地元関係者と協議したいと考えています。

飼料用稲の試作栽培の中身は

転作田の有効活用を目的とします



福島 勝男 議員

福島

近年の購入飼料の高騰は、畜産農家にとって深刻な事態である。施政方針で飼料用稲の試作栽培に取り組むとあるが、これは年間2400万tもの飼料用穀物を海外にたよっている我が国が自衛的手段として対応出来る作物であると考え。一方水害常襲地帯の我が町にとって、最も取り組み易い転作物であり、集団化、団地化等により米農家の所得向上も期待出来る。今後の展望と課題点等について伺う。

町長

転作田の有効活用を目的に町内3ヶ所程度に試験栽培を行ない、栽培技術、コスト面等の調査、及び給餌による嗜好性の把握を行います。畜産農家の飼



飼料用稲の研修状況

福島

料としての評価いかんにより、需用と供給のバランスを調整する必要があります。試験の結果にもよりますが今後耕種農家と畜産農家がうまく連携することにより、相方の所得向上に結びつくものと思っております。

「健やか推進室」を中心に、保健師を核とし、地域に密着した保健指導の体制づくりが施政方針で述べられているが、その中身は保健師を栗野保健センターに一括集中させ、地区割分担により保健指導等より充実させようとするものであり一定の評価は出来る。然しながら、この事により吉松保健センターは、19年度より保健師不在の状況となり、旧町間において福祉行政に格差が生じている。対応策を伺う。

町長

国政における医療制度が目まぐるしく変化し、現体制では対応出来なくなつたため、福祉三課の横断的連携を図り設置したのが「健やか推進室」であります。

吉松保健センターは保健師の地区割分担により2名の保健師が配置される予定であり、今後二人の調整により保健センターでの対応も可能であると思っております。



有効活用が望まれる吉松保健センター



西牟田徹也 議員

少子化対策について

前向きに取り組んでいきます

西牟田 出産時に10万円の誕生祝金の支給は考えられないか伺う。

町長 新たな財源が必要となり、財政的な問題から難しいと思います。

西牟田 子育て支援対策として、育児に不安のないよう、ホームヘルパー制度の創設は考えられないか伺う。

町長 健やか推進室を設置し、平成20年度から、生後4ヶ月までの家庭を全戸訪問し、今まで以上に充実した子育て支援環境を図ります。

西牟田 のびのびと心豊かな子どもを育くみ、世代を越えた活動拠点の整備は考えられないか伺う。

教育長 各地区に公園等の整備は早急には難しいですが、有効活用で

きるスペースを総合的に検討していきます。

西牟田 学校や地区公民館施設等の消石灰使用については、どのように指導されているか伺う。

教育長 学校現場においては消石灰が視力や角膜・結膜等に障害を残す危険性があることから、平成20年度から消石灰の使用を中止する予定となっております。

西牟田 地区公民館においてはどうか伺う。

教育長 地区公民館長会等で確認し消石灰の使用がある場合には早急に使用を停止し、安全な製品を使用するように指導いたします。



危険性のある消石灰

集落再生について

自治会活動の充実について調査・分析を行います



仮屋 良二 議員

仮屋 65歳以上の高齢者が半数を超え、集落機能維持が困難な「限界集落」は本町でも増加傾向にあると思う。集落で自治会活動を行うにはある程度の規模が必要である。そこで、集落再生整備基本方針を定め集落の再生に向けた取り組みは考えていないか伺う。

町長 本町でも、人口減少や少子高齢化の影響により、集落機能が低下しつつある中で、現時点では、自治会の自主的な統廃合をお願いしている状況であります。集落再生については、自治会のこれまでの歴史や集落条件など難しい問題もありませんが、今後、自治会活動においてどのような課題・問題点があるか、地区・自治会の意見等を

きながら、自治会活動の充実について調査・分析を行います。

仮屋 住民自らが集落の統合を行った自治会に対し、今後更なる活性化のため、助成金を交付する考えはないか伺う。

町長 自治会の統合にあたり、集落でどのような問題点があるか、話し合いにより自ら自治会でできるもの、あるいは行政が後押しをしなくてはならないものなどありと考えます。

町長 自治会の統合にあたり、集落でどのような問題点があるか、話し合いにより自ら自治会でできるもの、あるいは行政が後押しをしなくてはならないものなどありと考えます。

仮屋 子ども達がわが町に対する想いを大切にする心を育み、議会・行政の理解を深めてもらうことから、是非とも子ども議会を開催する考えはないか伺う。

町長 若者の政治への関心を高め、公民的資質の基礎を身につけさせる教育が、課題であると考えます。教育委員会や議会と連携を図り、体験させることで子ども達ばかりでなく、その保護者の世代にも地方自治に対する興味を持たせる機会として、開催したいと考えますが、そのためには議会の同意が必要であります。

仮屋 子ども達がわが町に対する想いを大切にする心を育み、議会・行政の理解を深めてもらうことから、是非とも子ども議会を開催する考えはないか伺う。

町長 若者の政治への関心を高め、公民的資質の基礎を身につけさせる教育が、課題であると考えます。教育委員会や議会と連携を図り、体験させることで子ども達ばかりでなく、その保護者の世代にも地方自治に対する興味を持たせる機会として、開催したいと考えますが、そのためには議会の同意が必要であります。

教育長 将来を担う子ども達に議会の制度について学ぶ機会を設けると共に、青少年の豊かな感性を町政に反映させることであると考えます。開催にあたっては、出席者や時期の検討、事前事後の学習等を詳細に検討する必要があります。

今後、各学校の校長と協議をして議会事務局・町長部局と連携して取り組んでいきたいと思えます。

地区・自治会の意見等を



統合された会田自治会



綾織まち子 議員

農家所得の安定について

魅力ある畜産経営が出来るよう取り組みます

綾織

畜産農家が経営拡大、増収を計るため、自家保留、購買等、素畜の贈頭計画をするが、施設不足、資金不足等の理由により、なかなか頭数が増えない。平成19年度の町牛舎施設整備事業補助金が233万円計画されていたが、全額減額され、平成20年度もまた同額が予算計上されている。農家にとって助成金が予算化される事は大変ありがたいが、今後の励みになる。せつかくの予算牛舎建築費に利用してこそ、資金が生きてくると思う。なぜ使用されなかったのか伺う。

町長

牛舎助成の申し込みは6名いましたが、JAの資金貸付の対象とならず牛舎建設を断念されました。

綾織

町当局、JAが協力の必要を訴えることにより実現するのは、他人事と思わず農家の気持ちになり取り組んでもらいたい。

町長

本町の畜産振興を図るため、農家の方々の支援に努め、魅力ある畜産経営が出来るよう関係者の方々と一体となって取り組んで参ります。

綾織

有害鳥獣駆除対策について、施設方針では、シカ対策として防護柵の被害と謳ってあり、対策の一つではあるが、シカ肉は皆に好まれないため生活改善グループ等の協力を得ながら商品加工・販売に取り組み、更に隣接市町と連携を取った広域に渡る被害対策を講じる考えはないか伺う。

町長

鳥獣による対策は、本町の地域性から対策をより確実効果的なものにするために、隣接市町との連携が不可欠と感じます。広域的対応につきましても、県の計画する南九州3県による年2回の一斉捕獲を、猟友会に協力依頼し実施していますが、抜本的対策になっていないのが実情です。今後、対策が、広域的連携、調整が必要ことから、県にも積極的に働きかけながら隣接市町との対策協議も検討して参ります。



シカに荒らされた飼料畑

協働・循環手法で自立再生を

研究を深め強化向上を図ります



篠原三千人 議員

篠原 少子高齢・国際環境（温暖化・資源・エネルギー・廃棄物・食糧・健康等）に経済・社会保障・医療福祉・教育など、複雑な課題対応に20年前後経過。官は合併等の行財政改革を進め、調整融合と緊縮財政に苦慮し、民零細農商工・給与所得）住民は定住後継もままならず、生活で手一杯。現状打開として過剰な財政依存から重点・優先化と官民（官官・民民）「協働のまちづくり」が期待されている。理念と解決手法の理解を深め、協働参加（社会）構築にワークショップ手法を活用する考えはないか伺う。

町長 ワークショップは多様な課題に様々な立場の参加者が共同

な立場の参加者が共同

業を通じて、課題発見、創造的解決策や計画考案さらに評価や意思決定過程に参画する「協働」手法はすばらしいと思います。取入れ事例もありません。

教育長 方向性を探る手法は重要です。吉松小建設委員会等、協働型に近い形で努めています。



ワークショップ事例

篠原 活性化先進町は外部専門家や大学等とも協働。大都市より住民に近い町村向き。充実強化策を期待。国内外の企業や自治体の理念や具現化のキーワード「バリアフリーとユニバーサル・デザイン」の視点と導入の考えを伺う。

町長 障害者や高齢者などの精神的、身体的障壁除去のバリアフリーも包含、自然や生活環境の多様な事象の功罪も予測、製品・施設・景观・都市などとサービスやシステムなど単独と相関の普遍化を図って行くことが「ユニバーサル・デザイン」と言われます。関連性や領域など難しい点も多く、出来ることから検討します。

篠原 町の自立と再生に（環境に加え、経済や三世代後継）循環型社会の構築を伺う。国の「頑張る地方応援プログラム」事業活用を伺う。

町長 豊かな自然の恵みを後世に繋ぐ循環型社会形成は必定です。3R徹底・バイオマスな新エネの推進強化や子育て支援事業など予定しています。自立再生方策や事業を研究します。



境田 公明 議員

バイオマスなどの地域資源の利活用の取り組みは 木質バイオマス発電所の企業誘致を検討しています

境田 家庭で出る使用済みのはたきや油資源ごみとして回収する考えはないか伺う。

町長 設備投資、ランニングコストがかかるため現在のところは考えていないが今後検討していきたいと思えます。

境田 地球温暖化対策推進法に基づく地球温暖化防止実行計画の策定は本町ではどうなっているか伺う。

町長 市町村レベルでは半数程度が未策定であり、本町は平成19年度を基準日として削減目標を定め、平成20年度に策定する予定です。

境田 木くずや、間伐材を利活用して発電を行う企業が昨年本町を尋ねてきたが、その後の対応はどうしているか伺う。

町長 発電事業を主に行う(株)ファーストエスコという企業で、地域の木材などを再資源化し、利活用するバイオマス発電所を本町へ建設したいというものです。

新たな雇用の創出や税収の確保、新エネルギーの供給、バイオマスによる循環型社会への貢献、関連産業の誘致などの効果が得られると言った観点から、庁内検討委員会において前向きに検討しているところです。

境田 バイオマスタウン(エコ工業団地)と言った位置づけで、一定の区域にさまざまな特色のある企業誘致をする構想はないか伺う。

先に述べた木質バイオマスの利用で火力発電をする企業が進出すれば、木材チップを製造する木材破砕企業が進出してくる可能性はあります。バイオマスにも様々な種類がありますので住民の理解が得られるかの問題があります。

町長 先に述べた木質バイオマスの利用で火力発電をする企業が進出すれば、木材チップを製造する木材破砕企業が進出してくる可能性はあります。バイオマスにも様々な種類がありますので住民の理解が得られるかの問題があります。

商工業とまちづくり

境田 吉松駅周辺の活性化について、今年の施政方針の中には具体的なものは含まれていないが、町長はどのように考えているのか伺う。

町長 平成19年度で吉松地区全体の都市計画区域の見直しをしましたが、20年度においては、吉松駅周辺を中心に用途指定を行う予算措置をしております。町づくりに関しては、停車場地区の区長さんを中心に推進委員会を立ち上げ委員会を開催しております。都市計画課を中心に商工観光課、総務課を含めたプロジェクトを立ち上げ、今後は、関係住民の意見を聞きながら町づくりを進めていきたいと思えます。

その他の質問
不審者対策



バイオマス発電所の事例 (岩国発電所)

町・公営住宅の施設整備について

財政計画に基づき改修します



森山マスミ 議員

森山 合併処理浄化槽設置事業に取り組んでいる中、町公営住宅のトイレが依然として汲み取り式である。今の時代ほとんどの家庭、教育施設も水洗トイレである。住民の住環境の変化が周辺でも大きく変わってきた現在、住民の要望は第一に水洗トイレである。教職員住宅公共住宅とあわせて、汲み取り式を早急に改修すべきであると考えているが町長の見解を伺う。

町長 本町の公営住宅における汲み取り式トイレは48戸ある。この住宅は、昭和28年から平成2年までに建設された木造住宅がほとんどであり平成19年2月に策定した「公営住宅等ストック総合活用計画」に基づき、

今後状況に応じて用途廃止を行う計画であります。公営住宅の汲み取り式のトイレは国の補助制度を有効に活用し財政計画に基づき改修していきます。

子育て支援について

森山 現在子育て中の家庭をとりまく現状は多様化し、核家族化が急速に進み乳幼児を持つ母親は育児不安を感じており、子育ての終られた方や高齢者の知恵と徳を頼り、健全育成を図るべく地域の人材を活用する考えはないか伺う。

子育て支援センターと連携し検討していきます。み大変良いことであり、子育て支援センターと連携し検討していきます。

町長 子育てに関して相談できる機会が昔と比べ減ってきています。子育てを終えた先輩達が子育ての中の方々を手助けくだされば世代交流も進

子育て支援の面からも保健師を核として地域分担方式による地域に密着した保健指導がなされ、又健やか推進事業で今までの保健師の



子育て支援の様子

森山 子育て支援の面からも保健師を核として地域分担方式による地域に密着した保健指導がなされ、又健やか推進事業で今までの保健師の

検証や課題の整理を行い新体制づくりが行われると考えるが、どのような子育て支援に取り組まれるのか伺う。

町長 区域を設定し保健師をはりつけ、相手との精神面でのふれあい、真の保健事業を達成

させるべく活動します。町としても子育て支援に積極的に取り組む考えであります。

させるべく活動します。町としても子育て支援に積極的に取り組む考えであります。

水害対策調査特別委員会経過報告

委員長 福島 勝男

3月19日 特別委員会開催

併用堤防の現地研修を5月19日～20日にかけて、熊本県緑川において実施することを確認し、あわせて5月20日、川内川河川事務所において、河川改修の要望会を開催する事を全会一致で決定しました。協議の中で、川内川河川事務所要望の前に激特事業施工箇所の現地検討を行い、要望に活かすべきとの意見があり、事前にこれを実施する事といたしました。

3月26日 川内川水系河川整備計画原案住民意見交換会開催
意見交換会に先立ち全員協議会を開催し、河川事務所の説明に対する対応等を協議しました。

これにより発言等については、説明の主旨を充分把握したうえで発言を行ない、不意な発言は慎むこと、主に

住民に発言を任せ、議員は住民の発言に対する補足的なものにとどめること等を申し合わせ確認いたしました。

川内川河川事務所の説明は前向きなものであり、要約すると、阿波井堰改築は鶴田ダム改修工事完了予定の平成27年度に合わせ完成出来るように努力したいとするものであります。

説明に対し、住民から活発な意見が出され、国に対し言うべきことは言い尽くした感がありましたが、意見を集約すると、国の平成27年度完成を目指す姿勢は一応評価するものの、完成年度を一年でも縮めてほしいとするもので、住民の切実な願いを感じさせられるものであります。

また、全体的に住民の考え方が河川改修検討委員会の提言に添い、治水、利水共に容認する方向に固まって来つつあり、行政、議会、住民に一体感が醸成されて来たとも言えます。

今回の国の説明が後退することのないよう動向を注意深

く見守りつつ、湧水町の悲願である阿波井堰改築の早期実現に向けて、更なる努力の必要性を痛感しております。



3/26 川内川水系河川整備計画原案住民意見交換会の様子

議会改革調査特別委員会経過報告

委員長 宮里 廣昭

2月15日 特別委員会開催

一般質問持ち時間について、これまで答弁時間を含めず、1時間となっていました。そうすると、時間的にも2時間以上かかるようなこともありましたが、もう少し、要領よく簡潔にできないか、審議しました。その中において、中身のある質問にするためには、1問か2問に絞って質問をすれば、的確な答弁を引き出すことができる。また、住民が何を知らたがっているのか、何をしてもらいたいのか、タイムリーな質問を議員が心がけていけばいいのではないかと。さらには、県内、近隣市町の状況を調べてみても、答弁時間を含めて1時間がほとんどであり、本町議会としても、議員が町長の的確な答弁をいかにして引き出すか努力し、質問、答弁時間を含めて1時間とすることに決まりました。

3月19日 特別委員会開催

議会改革の背景と目的、改革の具体策について、協議し、今後の取り組みと当面の課題として、北海道栗山町議会などの先進地の議会改革事例等資料による研修、一般質問の持ち時間1時間等の今後の課題、住民との対話、議員報酬、事務局の強化等を課題に、町村議会議長会より講師を招いて、研修会を行い、議会改革に取り組みよう決まりました。

熊本県球磨郡町村議会
議長会が、2月22日、旧
町における合併協議及び
合併後の将来の展望等
について視察され、議長が
対応いたしました。

行政視察 受け入れました。

えびの市議会が2月21
日から22日にかけて、阿
波井堰改築の取り組みや
ふるさとバスの導入・運
営状況について視察され、
議長及び各委員長が対応
いたしました。

ゆうすいの花

みちのく福寿草

福寿草は春を告げる花の代表で、別名「元旦草」とも呼ばれ、新春を祝う花として知られています。
みちのく福寿草は、県内で本町川添に2ヶ所、霧島市牧園に1ヶ所確認されておりますが、日本の自生南限地にあたる大変貴重な植物です。
鹿児島県は、県内に自生する植物で最も絶滅の恐れのある植物を6種指定していますが、その中の一つに入っています。
花は3月初めに黄金色の花を咲かせ、見る者に感動を与えてくれます。

花言葉 Ⅱ 永久の幸福、思い出、幸せを招く、祝福



(福島)

傍聴にお越しく下さい。

次の議会は6月中旬予定

編集後記

風薫る5月、体にこころ良い季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、平成20年度の予算も可決され、新たに国の方針により後期高齢者医療制度が始まりました。

厳しい財政の中、行政、議会、一丸となつて、さらに町の発展に努めてまいります。

(綾織)

議会広報調査特別委員会

委員長	亀澤 中
副委員長	磯貝 文夫
委員	淵上 幸男
同	綾織 まち子
同	福島 勝男
同	上水流 功

